

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																								
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営理念は明文化し、「早稲田スクール感動創出三箇条」により随時声に出して共有している。 ・従業員がやりがいを感じるイベントの企画取組みを実践している。												8	9							17					
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・コンプライアンス研修を定期的の実施している。 ・法令遵守の規定とマニュアルが細かく記載されている。																			16						
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努め、不正競争行為の禁止を含む行動規範を整備している。 ・コンプライアンスコードに取引先との適正取引について明記し、不正があった場合はホットラインにて内部統制委員会へ報告の義務がある。																10				16					
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当者及び責任者を任命している。 ・SDGs推進チームが存在し、SDGsイベント運営や啓発活動、定期的な意識調査アンケートを実施している。																				16					
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許、商標、著作権などの侵害排除に対する規定を設けている。 ・知的財産権について研修を実施している。												8.2 8.3	9							16					
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・情報漏洩事故が起きぬように、毎年1回全個人情報のチェックしている。 ・個人情報保護について研修を実施している。																				16					
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・定期的なアンケートや面談会など顧客や取引先の声(特に苦情)を大切にしている。																			16	17					
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●																						16	17				
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・地震や災害に備えBCPを策定、災害想定シミュレーションを実施している。															9				11		13.1		16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・管理職研修や次世代社員研修など後継者の指導・育成に取り組んでいる。														8	9							17			
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2				5							8						12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別やハラスメントの禁止について就業規則に定めている。 ・研修を実施し、相談窓口を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5						8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7				
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・メンタルヘルスを確保するために管理職教育や啓発活動を実施している。 ・50名以下の事業所であっても年1回ストレスチェックを実施している。					3							8.8													
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・厚労省の同一労働同一賃金ガイドラインに沿った体制を整備している。						5.5						8.5		10.2 10.3											
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・PCの自動消灯や一週間連続の有給奨励など残業時間の管理徹底や有給休暇の取得奨励を実施している。 ・家事、育児、ボランティア活動など積極的に参画を推奨している。					3							8.5 8.8		10.3											
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・外部研修を含め、新人・中堅・管理職などキャリアに応じて研修を実施している。					4	5.5						8	9												
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・健康診断、インフルエンザ予防接種など経費補助をしている。 ・社員の扶養者を対象に、一定の年齢層への家族健診を実施している。					3							8											17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進、昇格に、性別や人種の差別はない。 ・熊本県の「女性の社会参画加速化宣言」を行っている。					4.4	5.1 5.5					8.5		10.2 10.3									16.7			
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・WEB会議を推進している。					3							8	9.1			11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・DX課を発定している。 ・手続きやパンフレット等の電子化を進めている。 ・ICTを活用したマネジメントとマーケティングを推進し、業務改革を実施している。													8	9.1			11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		・プライト企業の認定を受けている。						3	4						8	9					12						



SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

更新

事業者名: 株式会社早稲田スクール

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・提供するサービスの質を確保するために、本部へ連絡があった情報は関係各所に共有し、サービス向上に役立っている。			3.9						9		12.4											
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・校舎内全てを土足にし、トイレや給湯室も土足で移動できるようにしている。 ・トイレを和式から洋式に移行している。									9.1	10	11.7								17			
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15					17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7						12.2	13.1			15					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15			17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・熊本県子ども食堂ネットワークを通じて、子ども食堂の支援および寄付を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・防災グッズや防災備蓄を常備している。 ・避難訓練を定期的に行っている。				4							11.5		13.1						16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・会社内にAEDを設置している。		1.5		3	4							10.2	11.5		13.1				16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を推進している。		●											9		11	12	13.1								
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・SDGs推進チームを立ち上げている。 ・SDGsに関するeラーニング研修を全正社員必須で実施している。 例)「ハラスメント」「外国人の人権」「ネットによる人権侵害」など	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・大学生のインターンシップを積極的に受け入れている。				4						8.6		10.2								17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元の学生を積極的に雇用している。					4.4					8.5 8.6										17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15			17		

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。